

a 学校教育目標	郷土を愛し、 自らの役割を見つけ、 全力で伸びようとする児童の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)「知・徳・体」の基礎基本を身につけ、郷土の発展を願う児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像)・児童の主体的に学ぶ力を育成し、基礎学力を定着をさせる学校 ・自己を愛し、健康でたくましく活動する児童を育成する学校 ・郷土のよさと課題を知り、その発展のために、地域を支え得る人材を育てる学校
----------	---	----------------------	---

評価計画					自己評価					改善方策	学校関係者評価			
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	月	月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力の向上	児童の主体的に学ぶ力を育成し、基礎学力を定着をさせる学校	1 学習の動機付けを工夫し、ゴールイメージを明確に持たせる。 2 既習事項を学習場面で積極的に生かせるよう支援する。 3 単元末等に成長を確かめさせる。	・ゴールイメージを明確に持たせるよう、学習の動機付けを工夫した単元の割合 ・1教科以上、授業で「～たい」という意識で、学習している児童の割合(アンケート)	全単元の50% 児童の80%										
	生活や次の学習で使える知識・技能を習得させる学校	1 読み書きのスキルは、ドリル学習で習熟を図る。 2 使うために学ぶという意識の働く授業を行う。	・前学年までの漢字の読み書きの正答率90%以上 ・計算問題の正答率90%以上 ・学んだことを、生活や後の学習で生かした児童の割合(アンケート)	達成児童80% 達成児童80%										
豊かな心と健やかな体の育成	自他を大切にしながら、切磋琢磨し合う学校風土の醸成	1 各自の得意なこと、上手なことを推薦し合い、「〇〇マイスター」として認定し、廊下へ掲示する。	・他者の頑張りに気づき、推薦できる児童の割合 ・他者の頑張りに学び、自らの取組に生かした児童の割合	達成児童100% 達成児童70%										
	自身の立てた目標に向けて、努力を惜しまない児童の育成	1 もっと成長したいと思わせる場の設定を工夫する。 2 目標と取組状況を見える化し、努力を称賛する。	1年間の目標を立て、継続的に努力した児童の割合(観察・アンケート)	達成児童80%										
信頼される学校	佐木島の学校として地域住民の心の拠り所となり、必要とされる存在となる	1 行事等で、児童・保護者の顔と名前を島民に紹介する。 2 児童・保護者に、積極的に地域行事を紹介し、参加を促す。	・地域住民に名前を呼んでいただいた児童の割合 ・島内の地域行事に参加した児童(家庭)の割合	100% 100%										
	教職員の勤務時間外在校時間の縮減(月45時間以内)	1 緊急時を除き、勤務時間外の用務を設定しない。 2 「働き方改革」の取組について地域・保護者へ周知し、理解と協力を仰ぐ。 3 過度な業務遂行を適正化する。	勤務時間外在校時間数の年間トータル時間数	500時間以内 達成職員100%										

【j:自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100

【l:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。